



2022年10月25日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

東京アドベンチャーラインがさらに魅力的に！ ～青梅駅をリニューアルします～

- JR東日本では、青梅線の青梅～奥多摩駅間を「東京アドベンチャーライン」として愛称を設定し、自然の中でアウトドア・アクティビティを楽しめる路線としてPRしてまいりました。
- このたび東京アドベンチャーラインの始発駅である青梅駅について、地域ゆかりのモチーフをデザインしたシンボルマークを設定します。なお、シンボルマークは当社社員のアイデアをもとに作成しました。
- また、地域のみなさまが大切にしている「昭和レトロ」の文化や思い出を残しつつ、自然の中でアウトドア・アクティビティを楽しむ路線にふさわしい駅へのリニューアルを行います。既存の待合室やベンチについてもリニューアルを行い、来春より使用開始します。

1 青梅駅にシンボルマークを設定します

青梅駅の魅力をアピールするために、例年5月に青梅市内で開催される「青梅大祭」をシンボルマークとして設定し、駅名標やベンチに刻印します。

(1) シンボルマークコンセプト

青梅線各駅シンボルマークを踏襲したデザインとしつつ、「青梅大祭の力強さの中から優美なお雛子の音楽が聞こえてきそうなデザイン」というコンセプトのもと東京アドベンチャーラインの始発駅となる青梅駅の魅力をアピールします。

(2) シンボルマークモチーフ

当社社員のアイデアをもとに決定しました。なお、選定にあたっては、地域に縁があり、かつ図柄化しやすいモチーフであることを考慮し、メインの山車については、各部のパーツ、各町12種類それぞれの特徴を学んだ上で、デザインが特定の町に近づかないよう全体を調整した上で決定しています。

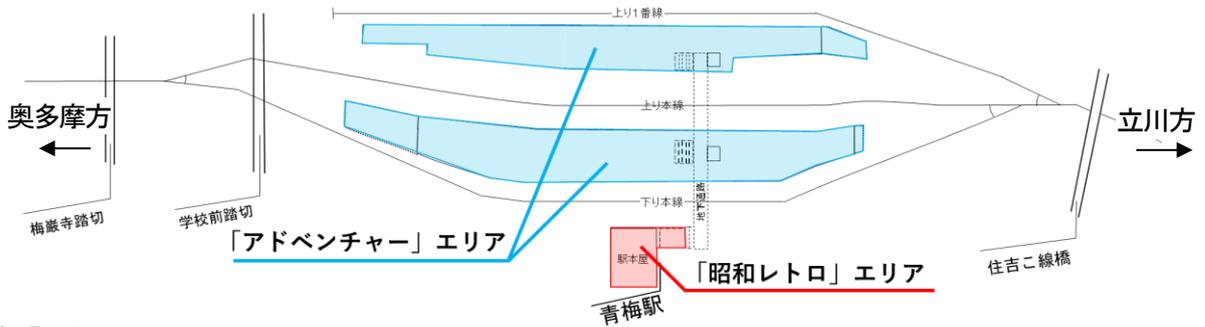


【青梅駅 新シンボルマークイメージ】

2 青梅駅の駅舎をリニューアルします

駅入口からコンコース（改札付近）は「昭和レトロ」をコンセプトとし、駅ホーム上は東京アドベンチャーラインにふさわしい「アドベンチャー」をコンセプトとしてリニューアルします。

【青梅駅 改修コンセプト図】



(1) 「アドベンチャー」エリア

① 既存待合室のリニューアル

ホーム上にある待合室2箇所をリニューアルし、東京アドベンチャーラインの始発駅にふさわしいアウトドア・アクティビティを表現した待合室整備を行います。



【立川方待合室】テーマ：自然 ※イメージ



【奥多摩方待合室】テーマ：アクティビティ ※イメージ

② ベンチ・案内サインのリニューアル整備

東京アドベンチャーラインオリジナルデザインのベンチ・案内サインにシンボルマークを整備します。



【参考例】日向和田駅ベンチ ※多摩産材を使用



【拡大】



【参考例】日向和田駅駅名標



(2) 「昭和レトロ」エリア

エリアコンコース（改札付近）の美化・映画看板移設

コンコースから駅ホームまでの通路について美化を行い、地域のみなさまが大切にしている「昭和レトロ」をイメージした映画看板をコンコース通路に移設します。



【既存コンコース（改札付近）】壁面および天井を塗装し、美化します



【既存改札内通路】地下通路映画看板を移設します

【スケジュール】

駅改良工事 10月中旬～2023年3月末予定

※画像はイメージであり実際と異なることや、行政手続きにより変更となる場合があります。

※スケジュールは工事進捗・行政手続きにより前後する可能性があります

【別紙】（参考）青梅線各駅 既に展開中のシンボルマーク由来一覧



【宮ノ平駅】 臨川庭園

青梅出身の衆議院議員・津雲國利が昭和9年(1934)に建造した邸宅。遺族の青梅市への寄付により一般開放されるようになる。



【日向和田駅】 吉野梅郷

かつては約1700本もの梅の名所だったが、プラムボックスウイルス感染により、2014年にはすべての梅の樹が伐採された。2016年以降再植が始まり、2019年には現在は1200本が植えられ、復活を目指している。



【石神前駅】 石神の大イチョウ

石神神社の境内にある、幹周6.5m、樹高25mを超える市指定天然記念の巨大なイチョウの樹。



【二俣尾駅】 奥多摩橋

戦前の道路用鋼アーチ橋として最大スパンの橋梁であり、アーチライズが大きく、優美な橋梁と評されている。



【軍畑駅】 辛垣の合戦

三田氏が北条氏を離反し上杉氏についたため、北条氏照が辛垣城(からかいじょう)を攻め入った合戦。これにより名門三田氏が終焉を迎える。

(岩槻へ落ち延びた後、自刃) 青梅市指定史跡。



【沢井駅】 奥多摩地酒

元禄15年に創業した老舗酒造がモチーフ。2019年には東京アドベンチャーラインデザインのワンカップ澤乃井も販売。



【御嶽駅】 武蔵御嶽神社

盗難除け・魔除け・豊作の神として広く信仰されている神社。守り神の「おいぬ様」に由来する、愛犬祈願も行っている。



【川井駅】 奥多摩大橋

平成5年（1993年）に完成した、多摩川にかかる265mの斜張橋。川井駅の真正面にロケーションしており、山間に覗かせる斜張橋の姿は周囲の景色に存在感を放っている。



【古里駅】 古里附のイヌグス

春日神社の境内に立つ巨大なイヌグス、樹齢は推定300年とも600年とも言われる。東京都指定天然記念物。



【鳩ノ巣駅】 はとの巣伝説

江戸の大火で奥多摩の木材が大量に必要とされ、鳩ノ巣溪谷にも飯場小屋が建てられた。そこに祭った玉川水神社の森に二羽の鳩が巣を作り、朝夕えさを運ぶ様が睦まじかったので、村人たちは霊鳥として愛護したことから鳩ノ巣の地名がつけられたとされる逸話がある。



【白丸駅】 白丸獅子舞

白丸の元栖神社にて古くから行われている、奥多摩町指定無形民俗文化財に指定されている獅子舞。嘉永6年（1853年）に氷川の日向から出火した火事により文献が焼失されているため起源は不明だが、その大火以前から衰退と復興を経ながら受け継がれている。



【奥多摩駅】 奥多摩湖

正式名称を「小河内貯水池」という。湖畔には様々な見どころ・観光施設があり、首都圏のオアシスとして親しまれている。東京都の貴重な水源であり、総貯水量1億8000万トン、都民の利用する水の約2割を供給している。